

NO1925号

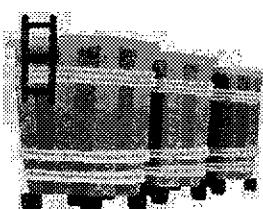
2019年11月13日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349



秋厚労ニュース

鉄道・酒蔵に大満足

教育宣伝部 第5回取材見学会

去る11月8日（金）、教育宣伝部第5回取材見学会に、13名が参加しました。由利高原鉄道にゆられ、天寿酒蔵を見学し、矢島の町をみんなで歩き、おしゃべりも弾み、大満足な1日になりました。



列車内で桜茶のサービスも

由利高原鉄道は、羽後本
サポートターがいる



鉄道車両の車庫見学

参加者は「地元の魅力を再発見できた」「本当に良かった」「お酒が出来上がるまでの手間、丁寧な仕事を見学できてよかったです」「高原鉄道の集客の工夫を知ることができた」「雰囲気の良いかわいい鉄道に癒されました」

地元の魅力を再発見できた

「普段みられない車庫も見られて興奮した」と感想述べていました。
見学会は、おしゃべりが弾み、矢島の町を歩きながら楽しく交流しました。教
会を企画します。ぜひ参加してください。

教育宣伝部（教宣部）では、取材見学会の目的を①視野を広げる、②秋田の魅力を再発見し発信する、③読んで楽しい記事づくり、④見学会で交流し仲間を増やす、と定めています。

第5回見学会は、「由利高原鉄道」「天寿酒蔵」の2カ所に行きました。

新聞報道などで経営状態が厳しいことが報じられたこともあります。季節ごとのイベント列車（たなばた列車、B級グルメ列車、忘年会列車など）を運行して集客する工夫をしています。

興味を引いたのは、関東、関西にサポートターがいて、首都圏でのPR活動のお手伝いをしているなど、全国に運営を支える人がいます。

だわった栽培米が使用されています。また、酒造りには欠かせない酵母も研究開発したオリジナル。酒造された7割が県内で消費され、最近は国外への輸出も

天寿酒蔵は1830年創業。今年が190回目の酒造りになります。麹の香りが漂う酒蔵内に入ると、従業員が「いらっしゃいませー」と声をかけてくれました。従業員が声を掛け合いながら活き活きと働いているのが印象的。とても明るい雰囲気でした。

庄駅から矢島駅までの23キロメートルの路線で、観光と地域の足として活躍しています。この日も小学生が元気に乗車してきました。

たことです。

天寿は米からこだわる



こたわりの栽培米の説明